

4 市民まちづくりアンケート調査の概要

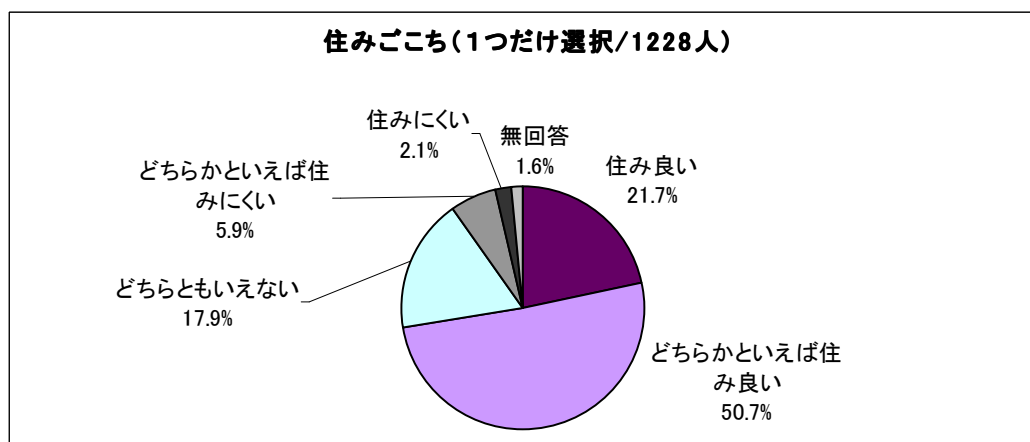
市のまちづくりや市政運営等に関する市民の評価や意向を把握するため、平成20年9月に「市民まちづくりアンケート」を実施しました。

調査においては、満18歳以上の無作為抽出した市民3,000人に調査票を郵送し、1,228人（回収率40.9%）から回答をいただいた結果、住みごちについては7割以上が肯定的な評価であり、また、今後のまちづくりについては約6割から「安心・安全」を重視する意向を得ました。

(1) 住みごち

千歳市の住みやすさに関しては、「住み良い」とする市民が72.4%を占めました。

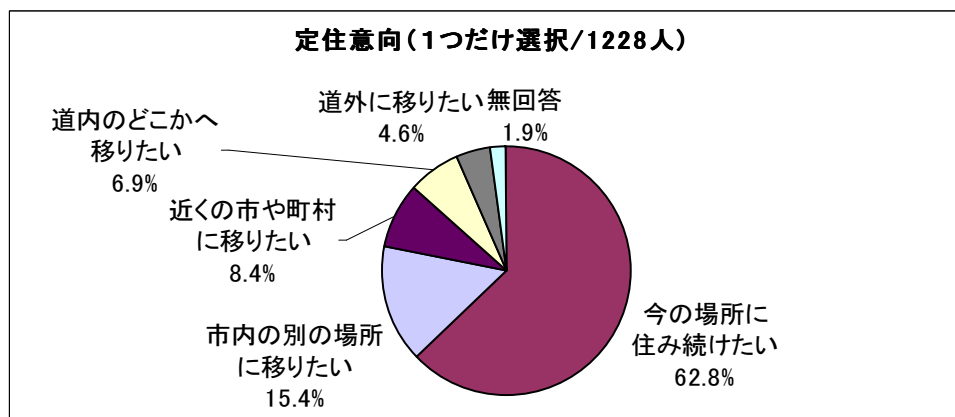
- ・「住み良い」 21.7%
- ・「どちらかといえば住み良い」 50.7%

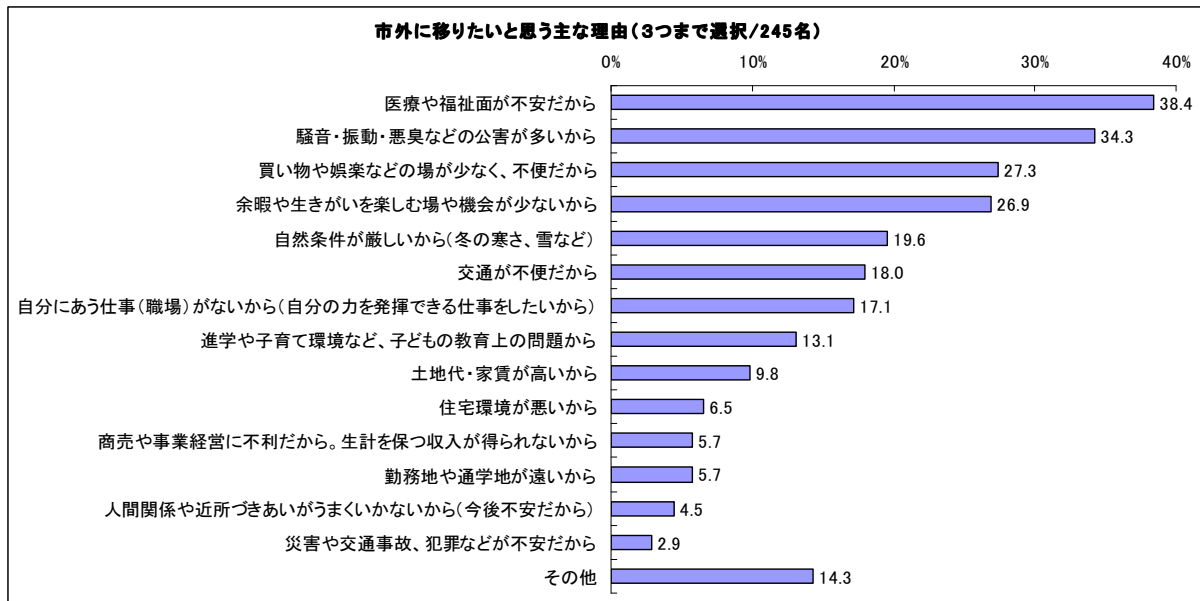


(2) 定住意向

これからも千歳市に住み続けたいとする市民は、78.2%となりました。一方、市外に移りたい主な理由としては、「医療や福祉面が不安だから」(38.4%)、「騒音・振動・悪臭などの公害が多いから」(34.3%)などがあげられています。

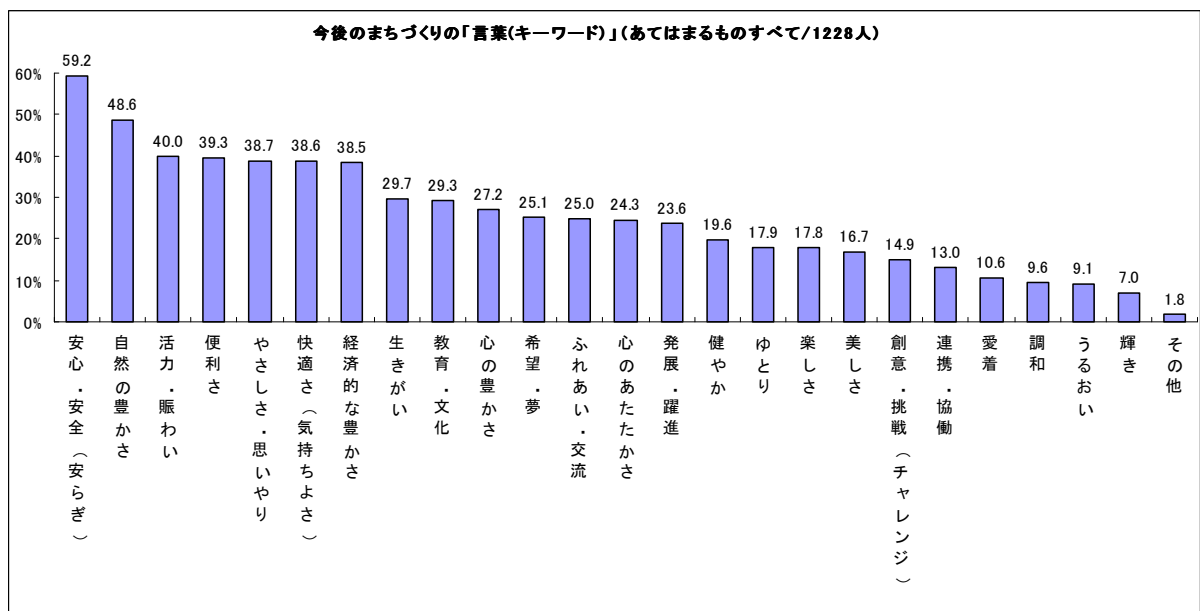
- ・「今の場所に住み続けたい」 62.8%
- ・「市内の別の場所に移りたい」 15.4%





(3) 今後のまちづくりのキーワード

今後の千歳市のまちづくりを進めていく上でのキーワードについては、「安心・安全(やすらぎ)」(59.2%)がもっとも高く、次いで「自然の豊かさ」(48.6%)、「活力・賑わい」(40.0%)、「便利さ」(39.3%)、「やさしさ・思いやり」(38.7%)、「快適さ(気持ちよさ)」(38.6%)、「経済的な豊かさ」(38.5%)などと続きます。



(4) 千歳市での暮らしについての満足度と重要度

千歳市での暮らしについての満足度と重要度については、重要度が高く満足度が低い項目として、「病院・診療所などの医療環境」「道路や歩道の除排雪」「働く場の確保」「騒音・振動・悪臭などの公害防止」「高齢者の自立支援」などが挙げられています。また、重要度が高い項目として、「子育ての環境や支援」「消防・救急体制」「ごみの収集・リサイクル」「自然災害などに対する防災体制」「健康づくりや病気の予防」などが挙げられています。満足度が低い項目としては、「中心市街地のにぎわいづくり」「バスの利用のしやすさ」「観光都市としての魅力づくり」などが挙げられています。

